

平成27年度 環境ビジネスアライアスマッチングセミナー エントリーシート（九州用）

所属地域	中部	支援機関	公益財団法人国際環境技術移転センター	
プレゼン希望地域 (希望地域に○)	近畿	九州	沖縄	関東
ふりがな	こんすてつこぼーるでいんぐすぐるーぶ かぶしきがいしやぐらんでつこ			
企業名	コンステックHDグループ 株式会社グランテック			
所在地	富山県氷見市上泉51(氷見事業本部)			
資本金	2,000万円	従業員数	43名	
会社概要	土木工事を中心に、建設機械レンタルも併営しております。土木工事は上下水道など公共工事はもとより、地盤改良工事、太陽光発電基礎工事、さらには地下水の熱エネルギー利用といった新たな地中土木工事分野にも取り組んでいます。			
ホームページURL	http://grountec.net			
連絡担当者情報 ※連絡を確実にするため、できれば2名を記載して下さい。	氏名	所属部署・役職	電子メールアドレス	
	高野 薫	営業部 営業課員	takano@grountec.net	
	電話番号	(0766)91-6111 090-3764-1268(高野)	FAX番号	(0766)91-1548
■アライアンスを希望する商品、技術、システム (所有する資格、取扱商品・技術、特許番号等)	<p>＜該当分野＞※該当分野を■としてください。 <input type="checkbox"/>環境分析装置 <input type="checkbox"/>公害防止装置 <input type="checkbox"/>廃棄物処理・リサイクル装置 <input type="checkbox"/>環境関連サービス <input checked="" type="checkbox"/>施設建設(埋め立て処分場造成等) <input type="checkbox"/>廃棄物処理・リサイクル <input type="checkbox"/>下水・し尿処理 <input type="checkbox"/>環境修復・環境創造 <input checked="" type="checkbox"/>環境調和型製品 <input type="checkbox"/>新エネルギー <input checked="" type="checkbox"/>省エネルギー</p> <p>＜商品、技術、システムの内容＞ 名称 : スクリュー・プレス工法 概要 : 一つの施工機で砕石(液状化対策可)と間伐材のパイルを形成する、環境に負荷をかけない低コストの地盤改良工法 特許等: 地盤改良方法(圧密パイル工法)特許第4566634号 地盤改良装置(施工機械) 特許第5622759号 新しい掘削方法を用いた環境負荷の少ない地盤改良 建設技術審査証明 建築証第1202号</p>			
■既存・競合商品等と比べ価格・性能的な優位性	<p>①品質向上・コスト削減 …特殊スクリューによる圧密掘削時、周辺の地盤が強化されます。この圧密掘削により残土発生量は1/5～1/20となり、残土処分費の削減が図れます。施工機は無線操縦であり、必要施工人員は2名と少人数です。</p> <p>②公害防止・資産価値向上…従来のセメント改良工法は有害物質六価クロム溶出の可能性があり、将来の撤去費用が多額です。当工法は六価クロム溶出のリスクは無く、撤去費用(砕石)もかかりません。</p> <p>③液状化対策のコスト削減…従来工法は住宅での費用500万円～1,000万、当工法は150万円程度に削減できます。</p>			
提案する ■アライアンスパターン ■アライアンスパートナー イメージ・事業者 ■対象市場	<p>＜アライアンスパターン＞ 当該地域における当工法のフランチャイズ加盟</p> <p>＜アライアンスパートナー・事業者イメージ＞ 地盤改良業、土木工事業、地質調査業など建設にかかわる事業者</p> <p>＜対象市場＞ 住宅、アパートなどの低層建築物の支持力向上、液状化対策 擁壁、水路などのコンクリート構造物の支持力向上、液状化対策 道路、公園などの液状化対策</p>			
■環境分野における効果	<p>従来の地盤改良工法はセメントや鋼鉄を使うものが多く、その材料を製造する段階で1トンあたり約0.8～2トンものCO2を排出しています。戸建住宅1棟あたりのCO2の排出量は、およそ8トンにもなります。また、セメント系材料を使用することにより、六価クロム溶出リスクは避けて通れません。</p> <p>自然素材である砕石・木材を改良材として利用する当工法の採択により、大きく環境負荷の軽減が図られます。例えば、セメントと比較すると、砕石は製造単位堆積あたりでのCO2排出量が1/77となります。更に、間伐材での施工であれば、工事のCO2排出量≦木材によるCO2貯蔵量となることから、工事を行えば行うほどCO2貯蔵へ繋がり、環境の回復に貢献できます。</p> <p>また、残土処分量も極めて少ないことから、処分・運搬に伴うエネルギー消費を抑制します。</p>			
■WIN&WIN連携イメージ (連携先企業のメリット等)	<p>従来の地盤改良工法には六価クロム溶出リスクなど未解決の諸問題があります。そのため、環境の保全や回復、資産価値を下げない工法への需要は高まっています。また、液状化対策工事は戸建住宅において施工費500万～1,000万と、これから住宅を建てる方にとって現実的な値段ではありません。</p> <p>当工法は環境への貢献に加え液状化対策も[住宅で150万程度]と低コスト施工が可能なので、これからの需要は益々高まります。従ってビジネスとして将来性があり、新規事業として大きな期待が出来る工法であるため、連携先企業様の事業発展に寄与出来るものと信じております。</p>			
■事業収益性の想定	<p>固定費が約70万、1棟あたりの変動費が約30万です。木造住宅においては施工1棟あたりの平均施工費が55万程度となることが多いため、月に4棟以上の施工で1棟あたり約25万の収益が見込めます。詳細は別紙も併せてご参照下さい。</p>			
<p>・アライアンス対象製品・技術が複数ある場合は、アライアンス対象製品・技術毎に、エントリーシートを作成してください。 ・アライアンス提案内容に関する詳細内容・補足説明、関連図面、製品写真等を添付してください。 ・提案シートの他にパンフレットや技術資料は別紙にて自由に添付してください。 ・本シートは本事業以外の目的には使用しません。また、提出後お返しすることはできませんので、ご了承ください。 ・原則、本シートはHP等で公開させていただきます。公開により支障を及ぼすおそれのある場合は個別にご相談ください。</p>				



専用施工機

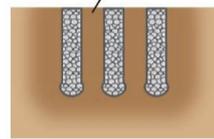
液状化抑制の原理

point

スクリー・プレス工法による液状化抑制は、砂地盤の圧密と間隙水圧消散を同時に行う「ハイスリット工法」です。

原理① 締め固め

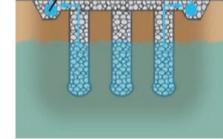
締め固め範囲



現状地盤のN値を 1.7 ~ 2.2 倍程度に上昇させます。

原理② 間隙水圧消散

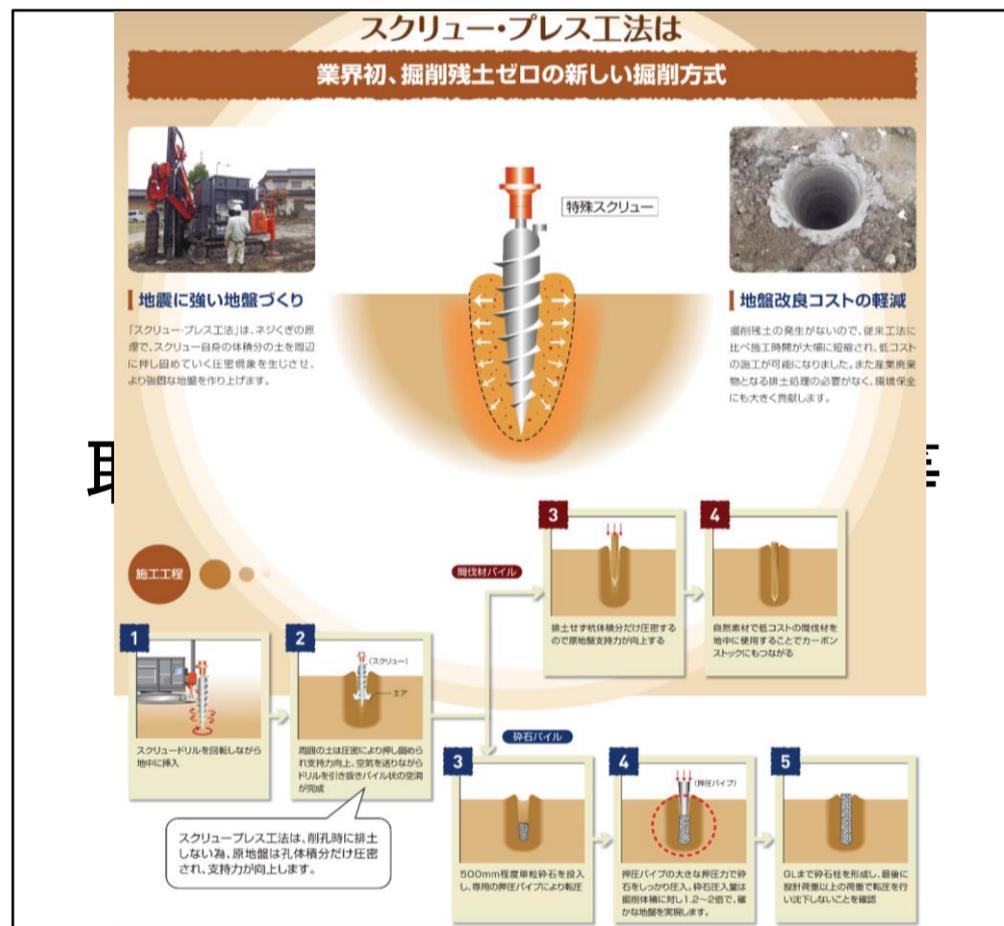
間隙水



透水性が良く、しかも地下水が流動しても砂が碎石内に入らないように7号碎石を使用します。

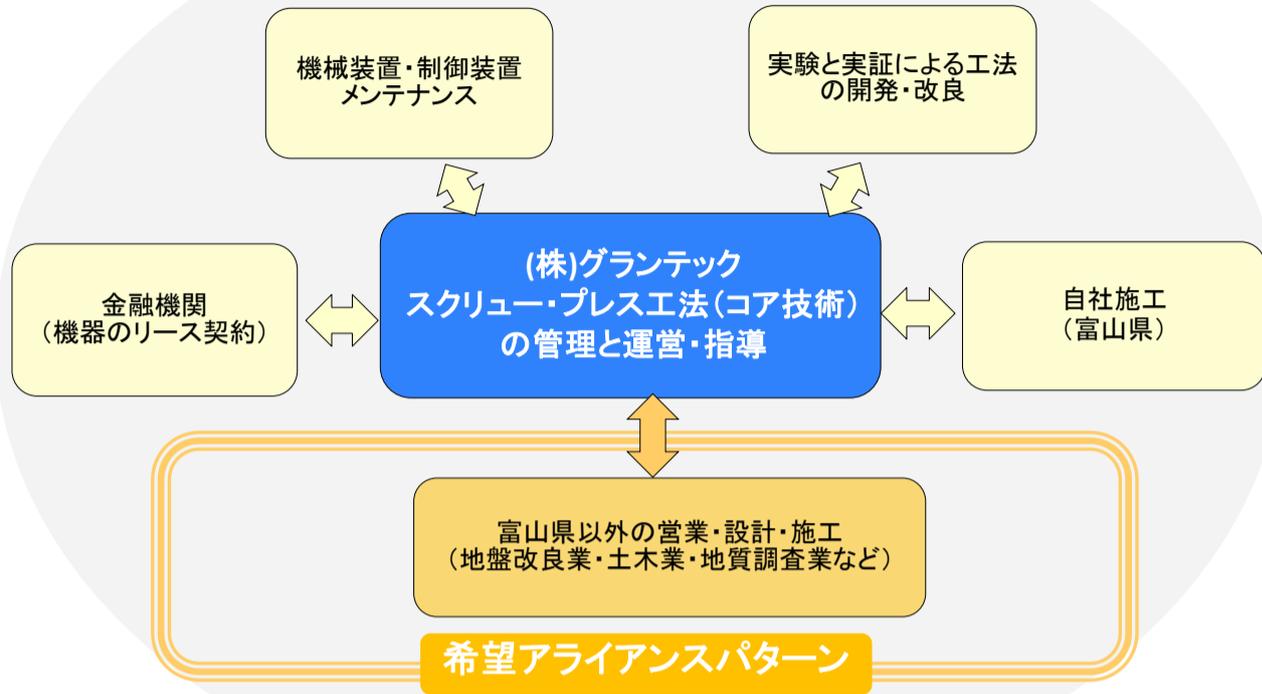
地盤支持力向上と液状化対策、その両方で高品質です

■取扱商品・技術の関連図面、製品写真等

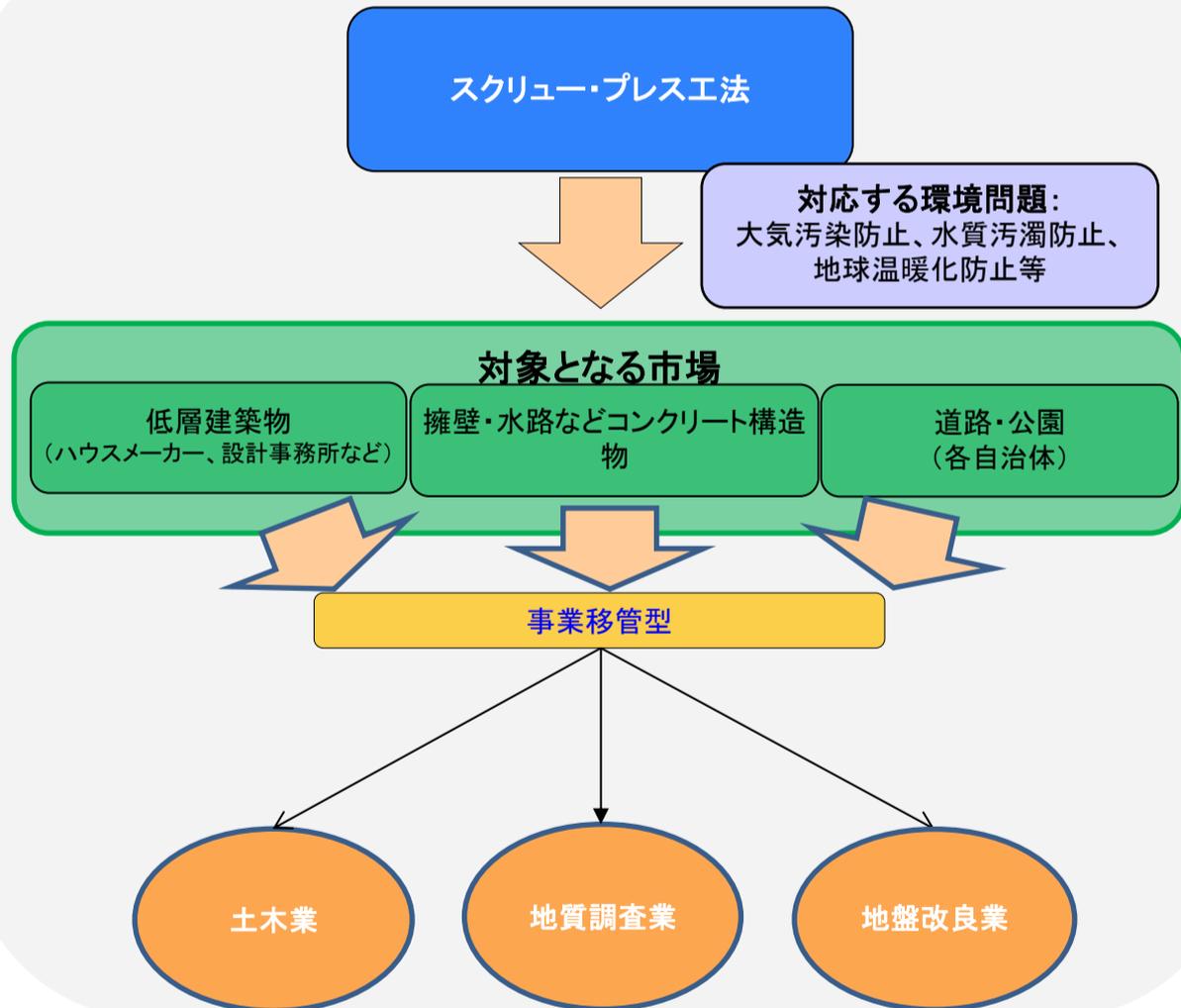


スクリー・プレス工法 施工手順

事業全体のイメージ図



アライアンスのイメージ図



■アライアンス提案内容に関するイメージ図(事業全体像、アライアンスパターン、対象市場等)

注)上記イメージ図は適宜修正してください。既存のイメージ図がある場合は差し替えていただいて結構です。
 なお、補足等がある場合は※印を使用するなど、各地域の支援機関が御社の求めるアライアンスパートナーを把握できるよう記入をお願いします。
【例】
 ※1 アライアンスを希望する商品、技術、システム等を1つだけ記入してください。
 ※2 具体的にどのような事業者かをできるだけ詳しく記入してください。